

おおむた 市議会だより

第212号

令和元年度
2月・3月議会

令和2年(2020年)5月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年間分

スマートフォン・
タブレットでも
見れます



じゃがいも収穫に向け活動中
(手鎌学童保育所)

【主な記事】

- 新年度予算、多種多様な議論・要望／ぎかいの話題(2ページ)
- 議会からの意見・要望に対する市長からの回答／ぎかいの話題(3・4ページ)
- 児童と飼育ヤギの交流がつないだ物語／おおむた自慢(14ページ)

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（森遵委員長、森田義孝副委員長）を設置し、新年度の各会計予算と条例議案等について、3月16日から24日までの実質6日間で慎重に審査を行いました。

保健センターの整備に関すること、学童保育所・クラブの充実、健康づくり、防災対策、ごみ処理問題、新型コロナウイルス感染症の対応など多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果、全ての予算議案及び条例議案を可決すべきものと決定しました。起草委員会で合意形成を図る要望項目などが話し合われて委員長報告書にまとめられ、3月27日の本会議で報告されました。

全会派及び無所属委員全員による賛同により、議会の合意形成が図られた意見・要望

保健センターの整備については、母子保健から子育て世代包括支援センターを含めた子育て支援や相談機能を一体的に推進するため、総合窓口の設置に向け、鋭意取り組まれない。

本市では平成30年4月に子育て世代包括支援センター「はぐはぐOomuta」が子ども家庭課内に開設され、妊娠期から出産、子育て期を包括的に支援し好評ですが、相談のスペースが狭いなどの課題があります。

また、母子健康手帳の交付、歯科検診やことばとこころの相談等はこれまで保健所で行われていました。

学齢期から18歳までの相談については、児童家庭相談室が別室にあるため、わかりにくいという声もあります。

保健所機能が県に移管され、新しく保健センターが整備されるこの機に、子ども支援の総合窓口を設置するよう、議会の総意として、その実現に向けて鋭意取り組まれるよう上記を市当局に要望しました。

その他の主な意見・要望(抜粋)

●学童保育所・クラブ

国の設置基準を守り、改修等も適宜実施してほしい。

潜在化した待機児童の実態をつかみ、保育の充実を図ることや、夏休み期間中のみの設置も検討してほしい。

●ごみ収集

プラスチック製容器・包装のリサイクルは、丁寧な市民への周知・啓発に努めてほしい。

福祉収集は、より充実を図ってほしい。ごみ処理の新施設整備は、県にも負担を求めながら取り組んでほしい。

●新型コロナウイルス感染症対策

病院等施設のマスクや消毒液の不足実態を把握し、その改善を国や県に要請してほしい。また、感染者が出た場合の関係機関の連携も十分に取組んでほしい。

●健康づくり

「おおむた+Walking」アプリ等の活用で市民意識の向上を図ってほしい。

フレイル予防事業は、よかば〜い体操教室等との連携も図りながら市民への周知啓発に努めてほしい。

●防災

避難所への段ボールベッド等の備蓄品の充実、福祉避難所の費用負担への配慮に努めてほしい。発災から3日程度の安全確保を各自行えるよう市民への啓発に努めてほしい。

●教職員の働き方改革

教職員定数の改善を国に求め、各学校現場では、業務量の削減や勤務時間内に研究会や会議を行う等の改善を図ってほしい。

●空き店舗の解消

今後、老朽化による改修の負担増など課題もふえるため、タウンマネージャーや商工会議所と連携して進めてほしい。

議会からの意見・要望に対する 市長からの回答

まちづくり・活性化特別委員会で議論された意見・要望の中から、以下の項目を令和元年 11 月に議会の総意として市長に提出し回答を求め、次のとおり 2 月に市長から回答がありました。

○第6次総合計画まちづくり総合プランに反映し、特に重点的に取り組むべきもの(要約)

1. 地元雇用の促進

【要望】人口減少対策には、若者の地域企業等への就職支援などの流出防止対策が必要不可欠であることを意識した施策を重点的に推進してほしい。

【回答】人口減少については、大学進学や就職をきっかけに若者世代が転出し、子どもを産み育てる世代の減少が要因の一つと認識している。

現在取り組んでいる「合同会社説明会」「合同面談会」「就職ガイダンス」また、「U・I」ターン若者就職奨励事業「おおむた100若者未来応援事業」などの事業の推進と、さらなる企業情報の周知活動など事業の拡充強化を検討し、地元雇用の促進に努める。

2. 生活・子育てしやすい環境づくり

【要望】移住・定住の促進には、本市の持つ総合的に豊かな環境のより一層のアピールと生活・子育て環境の充実が必要。

本市の整った環境や利便性のアピールとともに、強みとなる取組は、変化するニーズに対応し、さらなる充実に努めてほしい。

【回答】第6次総合計画では、E S D のさらなる推進に加え、小中一貫校推進事業や公立中学校夜間学級推進事業を掲げ、特色ある教育を展開する。

平成29年12月から休止していた病後児保育事業は、令和2年1月から病児・病後児保育事業として開始。今後も、変化する子育てニーズに対応した取組を充実していく。

3. 健康づくりや健康寿命の延伸

【要望】令和2年度設置の大牟田市保健センターについては、市民のあらゆる健康に関わる事業に取り組まれることとなっているが、その位置付けと活用を明確にするとともに、実効的な取組を推進してほしい。

【回答】保健センターは、令和2年度以降、保健所庁舎を改修しエレベーターの設置等を整備し、市民の健康増進を図るための健康相談、保健指導及び健康診査等を行う市民の生涯を通じた健康づくりの拠点としたい。また、後期高齢者医療制度や介護予防事業との一体的な推進をするために、国民健康保険の部局との連携を図り、実効性のある健康づくり事業に取り組んでいく。

○令和2年度予算案及び事業等に反映する必要があると思われるもの(要約)

1. 様々な課題を抱える子どもたちへの支援

【要望】複雑化・深刻化した事案でのソーシャルワーカーの活用は大きな成果が得られている。小中学校におけるスクールソーシャルワーカー(S S W)の体制強化に加え、関係機関との連携を図るため、子育て世代包括支援センターにもソーシャルワーカーを配置してほしい。

【回答】平成30年度からS S Wの体制強化を図り、高度な専門機関とも連携し、児童生徒・保護者等への支援の充実を図っている。今後も関係機関との連携を密にして実態に応じた対応に努めていく。子育て世代包括支援センターは、専門職員のほか、庁内の関係各課、医療機関や児童家庭相談室との連携や子ども支援ネットワークを活用して課題解決に取り組んでおり、ソーシャルワーカーに求められる役割は、現体制でも対応しているところである。

2. 小中学校へのエアコン設置

【要望】普通教室等へは設置されたが、避難所となる体育館などへの設置も今後想定され、未設置の特別教室への対応も含め、各学校の意向調査も行いながら、国等の有利な財源が確保できる場合にも即応できるよう、設置計画の策定も進めてほしい。

【回答】令和元年度は、各学校の意向調査も行った上で、各学校特別教室1室にエアコンの設置を行った。子どもたちの健康上の安全を守り、快適な学習環境づくりを進めるために対応し、避難所となった際は、エアコンを設置している教室や体育館内の地域連携室等を避難状況に応じて活用してきた。今後、未設置の特別教室への設置については、国の動向も注視し、引き続き学校環境整備の充実に向け、各学校の状況に応じて対応していく。

ぎかいの話題

3. 若者を中心とした地元雇用促進

【要望】新卒の若者やUターン希望者の就職に対する事業を充実させ、学校、地域企業や関係機関の相互理解を図り、受け皿となる様々な地域企業を生徒や家族が知るためにさらなる周知を行い、地元雇用を促進してほしい。

【回答】市内の高等学校や高等教育機関の新卒者の就職を増やすための取り組みは、U・I・Jターンによる地元就職の取組と併せて重要だと考えている。現在取り組んでいる事業とともに、さらなる企業情報の周知活動など、関係者と協議を重ね、事業の拡充強化を検討する。

4. 大牟田市中心市街地活性化基本計画の見直し

【要望】これまでの取組を検証し、商業振興についても売り手と買い手のニーズ、地域課題も調査し、タウンマネージャーとも協力しながら賑わいや魅力、新たな商業の創出につながる実効性のある取組を充実してほしい。

【回答】大牟田市中心市街地活性化協議会を年2回開催し、計画の検証を行っている。大牟田商工会議所と連携し、商店主や住民、来街者を対象としたアンケート調査を実施し、商業団体や商人塾の若手商業者からのヒアリングにより売り手と買い手の地域課題等の把握に努めている。今後もこうした取組や成果を検証し、基本計画の見直しを行っていく。

5. 県への保健所の設置主体の変更

【要望】食品営業許可は、令和2年度は更新時期に臨時申請窓口が開設されるが、その実施状況を検証し今後も県と協議してほしい。

臨時営業許可は、申請件数が多いことやイベント等での安心安全の確保のためにも、本市で申請できるよう検討してほしい。

令和3年度から県事務所へ変更される医療費助成制度の申請は、実施状況等を検証し、市民への影響を緩和してほしい。

【回答】県では申請者の利便性を考慮し、食品営業許可の更新申請や指定難病医療費助成の更新申請は、臨時の窓口を本市に開設する予定である。県の実施状況を踏まえ、市民への影響が緩和されるよう、引き続き県と協議していく。

6. 健康いきいきマイレージ事業

【要望】事業の性質上、成果に結びつくまで一定の時間がかかり、継続して効果を上げるにも、事業目的、課題等を整理・検証し、事業のあり方や実施手法を含め総括を行い、より良い事業を構築してほしい。

【回答】平成30年度末に3,700人の市民に対し健康マイレージカードを発行し一定の成果を上げた。カードの所有者が高齢女性に偏っていることや新たな健康活動への広がりが十分でないなど課題も見られる。県がアプリを活用した事業の運用を開始したため、本市も県レベルでの取組に参加することにし、本市独自のアプリ「おおむた+Walking」との連携を通じて広い世代に健康活動を促していきたい。

7. 地域公共交通網形成計画

【要望】高齢化に伴う免許返納など地域の交通網に関わる社会情勢への対応のため、民間事業者等と協議・協力し、交通弱者に配慮した具体的な取組に着手してほしい。

また、公共交通空白地域の解消への取組を令和2年度予算へ反映してほしい。

【回答】計画の推進は、様々な関係者で構成する地域公共交通活性化協議会での議論を踏まえ各々の役割に応じた事業を実施していく。

路線バスがない地域で優先度が高い三池地区は令和2年度に、新たな交通手段の導入に向けての実証実験を行いたい。

8. シティプロモーション

【要望】市として総合的に統括する機能に加え、たーんとよかとこ協議会や観光協会との連携や役割分担が明確でなく、今後の方向性やあり方について、まずは現戦略を総括してほしい。

また、地域資源を生かし、メディアなどを活用し効果的に取り組みながら、次期戦略を策定、推進してほしい。

【回答】シティプロモーションは、「雇用」「子育て」「教育」「観光」等それぞれの分野での取組の中で展開するため、観光プロモーションにおける民間団体との連携や役割分担は、新たに策定する「観光基本計画」で明確にする。

これまでの取組を総括し必要な見直しを行い、本市の知名度・イメージアップを図れるよう取り組みたい。

研修会でフレイル予防の重要性学ぶ

令和元年度の議員研修会は、杉循環器科内科病院高齢者医療センター長の池田久雄先生を講師に招き「超高齢社会におけるサルコペニア／フレイルの克服を目指して～まちぐるみで創りあげる医療介護予防事業（さるかんば事業）の重要性～」をテーマに学びました。

講演では「①心臓リハビリテーション」として、動脈硬化を予防すれば長生きできる＝生活習慣病予防であり、医師や看護師だけでなく多職種協働で行う医療、包括的なリハビリテーションが重要となってきたこと。「②フレイルとは」では、独居・閉じこもりといった社会的フレイル、サルコペニアの身体的フレイル、精神的・心理



（令和 2 年 1 月 22 日研修会）

的フレイルなどがあること。「③さるかんば事業について」では、フレイル予防のためバランスの取れた栄養、適度な運動、社会や人とのつながりが重要であり、健康寿命の延伸に貢献できる可能性がある事業であることなど、池田先生の実践事例も交え話されました。

本市では今年度より、さるかんば事業に取り組むことになっていますが、講演でお聞きしたことを参考とし、議会としても生かしていきたいと思います。

本市では今年度より、さるかんば事業に取り組むことになっていますが、講演でお聞きしたことを参考とし、議会としても生かしていきたいと思います。

議員のよこ顔(最終回)

1 年間（4 回）にわたって全議員を紹介しています。



森 遵
議員

①54歳 ②上町 ③音楽鑑賞（ロック、ジャズ、演歌、クラシックなど何でも） ④人事を尽くして天命を待つ。笑う門には福来たる（経験的に当たっています） ⑤ボランティアなどの人の力は素晴らしいと思います。動物園と諏訪公園は子どもと行くところ、魅力がありますね。 ⑥短所は気が短いところ。長所は他人が判断するものだと思います。



山田 修司
議員

①49歳 ②小浜町 ③ものづくり ④「生きる」ことは「行動する」こと。 ⑤2007年フォーブス誌で「世界の最も美しい都市トップ25」に選ばれた、東に三池の山、西に有明の海をたたえた詩情豊かな郷土。そしてこの地で暮らす情に厚い人々。 ⑥温厚ですが、短気な面もあります。



森 竜子
議員

①49歳 ②大正町 ③読書。歴史ものや推理小説が好きです。 ④すべては子どもたちの未来のために。 ⑤生まれ育ったまちなので良い所も足りない所も含めて好きなまちです。 ⑥曲がった事が嫌いなので、はっきりと物を言い過ぎる所を直そうと努力中です。



山田 貴正
議員

①42歳 ②勝立 ③漫才をするのが好きでたまにやっています。M-1で準決勝に行ったことがあります。 ④面白き事もなき世を面白く ⑤やはり人ですね。熱く、温かく、明るい方が多いと感じます。 ⑥長所は自分ではわかりません（御存じの方教えてください）。短所は人見知りなところ（改善方法を教えてください）。



森田 義孝
議員

①61歳 ②三池 ③軟式テニス、ゴルフ（下手の横好きです。） ④温故知新、一期一会、人との出会いを大切にしています。 ⑤甘木山からの夜景と自然災害が少なく住みやすいところ。また、B級グルメ（ラーメン、お好み焼きなど）が多く美味しいところです。 ⑥長所は、温厚で真面目なところ。短所、不器用なところ。



山口 雅夫
議員

①33歳 ②通町 ③スポーツや映画の観賞。愛犬をドッグランに連れて行き妻と遊ぶこと。愛犬は推定14才、長生きしてほしいです。 ④男子は生涯、一事を成せば足る ⑤程よく田舎で交通利便性も高いところはいいですね。物価も落ち着いてますし、生活しやすいです。 ⑥長所は運がいいこと。短所は諦めが悪いこと。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■令和2年度大牟田市 一般会計予算などを可決

2月・3月議会

令和元年度2月・3月議会は、2月28日に招集され、3月27日までの29日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、各会計の令和元年度補正予算等関係議案14件、令和2年度当初予算議案7件、大牟田市まちづくり総合プランについてなどの議案14件、人権擁護委員候補者の推薦の諮問2件、意見書案の発議9件、国民保護計画の変更に関する報告等4件の計50件でした。

本会議では、令和2年度予算編成の考え方、第6次総合計画まちづくり総合プラン策定、新型コロナウイルス感染症対策についてなどの諸課題に11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、新年度各会計予算や条例議案、報告の20件は、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議3件を除いた議案、発議等をそれぞれ可決、同意、異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

議会日誌(1月～3月)

【1月】

16日 広報広聴委員会広報部会
20日 総務委員会
22日 議会研修会
24日 各派代表者会

【2月】

3日 各派代表者会、
議会運営委員会、
市民教育厚生委員会
10日 全員協議会
21日 各派代表者会、
議会運営委員会
26日 市民教育厚生委員会、
まちづくり・活性化特別委員会
27日 総務委員会、
都市環境経済委員会
28日 第5回定例会本会議(開会)、
広報広聴委員会広報部会

【3月】

6日 第5回定例会本会議(質疑質問)
9日 第5回定例会本会議(質疑質問)
10日 第5回定例会本会議(質疑質問)
11日 第5回定例会本会議(質疑質問)、
予算特別委員会
12日 総務委員会、市民教育厚生委員会、
都市環境経済委員会
16日 各派代表者会、議会運営委員会、
第5回定例会本会議(補正関係議案採決)、
予算特別委員会
17日 予算特別委員会
18日 予算特別委員会
19日 予算特別委員会
23日 予算特別委員会
24日 予算特別委員会、請願等調整委員会、
起草委員会
25日 起草委員会
26日 起草委員会
27日 起草委員会、各派代表者会、
議会運営委員会、
第5回定例会本会議(新年度関係議案採決、閉会)、
広報広聴委員会広報部会



委員会メモ



大牟田市まちづくり 総合プランの策定

【総務委員会】

2月27日の委員会で、令和2年度からの4年間を計画期間とする新たな「まちづくり総合プラン」を策定する旨の説明を受けました。

今後、同プランに掲げる都市像「人が育ち、人のにぎわい、人を大切にする ほっとシティおおむた」の実現に向け、様々な取組が進められていきます。

(仮称)大牟田市総合体育館 建設の早期実現に向け

【市民教育厚生委員会】

(仮称)大牟田市総合体育館整備基本計画案について、2月26日の委員会で、他の公共施設における市民活動の場を取り込んだスポーツ拠点施設とする整備の方向性や、令和5年度中の竣工を目指した事業スケジュール等の説明を受けました。

これを受け、集約される施設の利用者の意見や延命公園周辺整備等について質疑を交わしました。

プラスチック製容器等の 品目追加に伴う分別収集

【都市環境経済委員会】

2月27日の委員会で、プラスチック製容器等のリサイクル品目追加に伴う分別収集の実施について、排出量や排出状況等を把握し、課題の検証等を行う必要があるため、4月から一部の校区でのモデル収集を実施する旨の説明を受けました。

これを受け、モデル収集実施校区の選定理由等について質疑が交わりました。

インフォメーション

■次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

感染予防のため、発熱、咳、悪寒などの症状のある方、体調のすぐれない方の傍聴はご遠慮ください。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで6月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わるできません。

Table 1. *Salmonella* serotypes and their associated diseases.

議案第 71 号	令和元年度大牟田市一般会計補正予算
議案第 72 号	令和元年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 73 号	令和元年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 74 号	令和元年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 75 号	令和元年度大牟田市病院事業債管理特別会計補正予算
議案第 76 号	令和元年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案第 77 号	令和元年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第 78 号	大牟田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 80 号	大牟田市嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 81 号	大牟田市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 82 号	大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 84 号	大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 89 号	令和２年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
議案第 90 号	令和２年度大牟田市水道事業会計予算
議案第 91 号	令和２年度大牟田市公共下水道事業会計予算
議案第 92 号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 93 号	大牟田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 94 号	大牟田市会計年度任用短時間勤務職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 95 号	大牟田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 96 号	大牟田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 97 号	大牟田市校区コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 98 号	大牟田市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 99 号	大牟田市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 101 号	大牟田市教育委員会委員の任命について〔東秀樹氏〕
議案第 102 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔竹本安伸氏〕
議案第 103 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔宮崎詠理子氏〕
議案第 104 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔堺和義氏〕
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について〔境元弘氏〕
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について〔村上義弘氏〕
発議第 22 号	大牟田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
発議第 28 号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書案
発議第 29 号	地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書案
発議第 30 号	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書案

代表質問

市長のリーダーシップを発揮し、まちづくりの推進を



動画視聴

自民・未来クラブ
森 竜子 議員

に取り組むべき課題。これまで以上に民間活力等の導入に向けた検討を行う必要があるほか、効率的な事業構築を図るためスクラップ

&ビルドの考え方を徹底する。

将来を見据えた財政計画で事業の選択と集中を

問 市長が目指す本市の将来像について聞きたい。

答 みんなが笑顔で安心して働き、豊かな生活を送ることができるまちづくりに全力を挙げて取り組む。

問 アクションプログラムでは、令和3年度から毎年度の赤字が見込まれているが、どのように対処するのか。

答 財源不足をできるだけ圧縮するために、事業費の精査や経常経費のさらなる抑制が必要。加えて政策的に取り組む事業の取捨選択を行い、健全な財政運営に努める。



(市庁舎本館)

問 民間活用策や個別計画の見直しなど、全庁挙げて行政課題の緊急性・重要性をゼロベースで検証し投資の選択と集中をすべきと思うが見解は。

答 事務事業の見直しは不断

倒壊が懸念される庁舎本館塔屋の耐震補強をすべきでは

問 市庁舎整備に関するアンケート調査の速報結果を受けての市長の見解は。

答 市民の関心の高さを改めて感じた。議論を急ぎつつ、市民負担を抑えて本館を保存する方法についても検討する必要があると感じている。

問 今後、アンケート結果を分析し建て替えるのか、改修するのか等議論していくことになると思うが、一定の時間を要することから、倒壊が懸念される本館塔屋については耐震補強を行い、市民や職員の安全を確保すべきでないか。

答 耐震性能において危険性が高いものと認識している。

今後の協議の中で塔屋の安全対策もお示ししたい。

保健センター整備に合わせ子育て総合窓口の設置を

問 保健センターの整備に合わせ、子育てに関する総合窓口を設置することにより、子育て世代に魅力的なまちづくりに取り組んではどうか。

答 今後、保健センターを整備する際には指摘のような配置についても十分検討したい。

学校でのICT環境整備を市長のリーダーシップで

問 国は、児童・生徒にパソコン端末等を一人一台整備するGIGAスクール構想の実現を掲げており、地域格差が生じる懸念がある。本市における今後のICT環境整備方針について聞きたい。

答 国が示した実現ロードマップをもとに試算を行っている。整備手法など精査しICT環境の充実に向け検討する。

再発言 市の負担軽減のためにも有利な財源を活用すべきであり、新型コロナウイルス感染症の対策として、パソコン等を使い、家庭で授業を受けるなど、活用の幅は無量大。市長のリーダーシップを図り実現されたい。

小中一貫校の導入では義務教育学校の検討も

問 市内全小中学校を原則併設型の小中一貫校とするに当たり、学校規模や地域性、環境など、それぞれに応じたあり方が重要。小学校と中学校が隣接している松原中校区はこの立地を生かした義務教育学校等もあると思うが見解は。

答 将来的に地域によっては、義務教育学校で運営したほうがよい場合も想定されることから、情報収集に努めたい。

再発言 有効な手段の場合は、積極的に取り入れてほしい。

※義務教育学校…小学校から中学校までの義務教育を9年間一貫して行う学校。

2030 年へ、S D G s 未来都市としての大牟田市の取組



動画視聴



公明党議員団
山田 修司 議員

ト調査にも取り組んでいる。

本市としては、引き続き関係機関と連携し、市内事業者への影響が、できる限り抑えられるよう取り組ん

外の各団体とも連携を図り、E S D の推進を通じ、S D G s の達成に貢献できる子どもたちの育成に努めていきたい。



新型コロナウイルス感染症 対策関連の事業者支援

問 新型コロナウイルスの関連で、本市は、大牟田市中小企業融資資金制度など活用し、つなぎ融資などの中小企業支援をどのように行う考えか。

答 本市では、新型コロナウイルス感染症に関する事業者向けの相談窓口を1月30日から、市、大牟田商工会議所、福岡県信用保証協会に開設し、対応している。事業者からは、売上高や利用者の減少による収益悪化に対応する融資資金に関する相談を受けている。

国は、中小企業者への資金繰り支援措置として、3月2日に47都道府県全ての地域を対象に、自然災害等の突発的な事由に対応した緊急融資を行うセーフティネット保証4号を発動し、本市では、市内事業者への周知に努めるとともに、市内全ての金融機関9行へ融資実行に関する協議とヒアリング調査を行った。加えて、商工会議所や地域活性化センターと連携し、事業者に対する約110社の緊急ヒアリングと、約300社のアンケー

でいく。

再発言 国、県、商工会議所等と連携し、切れ目のない手厚い対応を強く要望する。

S D G s 2030の ゴールへ向けて

問 S D G s の実現に向け、今後、具体的にどのように取り組むのか。

答 持続可能なまちづくりの実現に向け、総合計画に掲げる各分野の施策や事業を互いに関連づけ、一体的なものとして展開することで、結果としてS D G s の達成に寄与するものと考えている。

また、本市が策定する個々の計画も、S D G s との関連を明確化することで、部局間、政策間の連携による取組へと結びつけていきたい。

問 E S D の2030年までの取組を聞きたい。

答 昨年12月の国連総会で、E S D のさらなる取組であるE S D for 2030が採択された。E S D が質の高い教育に関する4番目のゴールである教育に不可欠で大事な要素であると指摘されている。教育委員会としては、地域や国内

有明海沿岸の 高潮浸水想定区域

問 福岡県より公表された高潮の浸水想定区域は、本市3分の1に浸水のおそれがあるとの想定である。

こうした被害を想定した避難対策を検討する必要があると思うが見解は。

答 想定された台風規模では、柳川市やみやま市などの沿岸部や、久留米市までも浸水する広域的な浸水範囲となる。

特に、本市を含む沿岸地域では、浸水想定区域内に避難所があることに加え、多くの避難者も発生するため、各市町で指定する避難所では収容し切れないことが予想される。

このため、より広域的な避難所の確保が必要となり、福岡県に対し、避難体制の整備や調整を行うよう近隣市町とともに要望し、今後、県及び関係市町と検討していく予定。

再発言 令和2年度にハザードマップを作成するとのことだが、マップを活用し、普段から市民の防災意識を高め、「どこが危険」、「どこに逃げる」を周知するよう要望する。

代表質問

新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応・対策は



動画視聴



社民・国民民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

三つのまちづくりの課題は

問 市長が掲げる三つのまちづくりの展開に当たり、本市の課題と思われることは何か。

答 人口減少、少子高齢化の進行、空き家の増加、公共交通の維持確保など、様々な課題があると認識している。

また、老朽化した庁舎の問題や新栄町駅前地区の市街地再開発事業など、まちづくりの観点からしっかり取り組む必要があると考えている。

再発言 まちづくりの課題は、行政と市民の信頼関係だと思う。市長は初心を忘れず、市民目線で市政運営に取り組まれるようお願いしたい。

市庁舎の整備に関するアンケートの結果に対する市長の感想と今後

問 アンケートの集計も終わり、回収率から関心の高さがうかがえる。市長は集計結果をどう考えるか。

答 本館の取扱いについては、時間をかけて検討する必要があるとの意見もある。

議論を急ぎつつ、市民負担

を抑えて本館を保存する方法も検討する必要があると感じている。

再発言 市庁舎整備は、結論ありきではなく、市民や専門家等の意見

を十分聞いた上で、検討してほしい。



(市庁舎本館)

新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応・対策

問 今はまだ蔓延期ではないと思うが、危険度判定基準が最高のレベル4に位置づけたのはいかがなものか。

答 未知のウイルスであり、県内での感染者が確認されたことなどから、市の健康危機管理マニュアルに従いレベル4と位置づけ、全庁的な対応がとれるよう市長をトップとした健康危機管理対策本部を設置したもの。

学校臨時休業要請に対する教育委員会の対応

問 全国の小中学校、高等学校、特別支援学校を3月2日から春休みまで臨時休業するよう、首相が要請されたが、本市では臨時休業がどのよう

に決定され、学校現場にどのように伝えられたのか。

答 2月27日夜に、教育委員や校長会と協議し、翌28日午前中に、県教育委員会や南筑後教育事務所管内の8市町との協議を踏まえ、公聴会の意見聴取もした上で、臨時休業を決定した。

同日午後、各学校長へ正式に通知し、各家庭に各学校からお知らせを配布、周知した。

問 臨時出校日を検討してほしいがどうか。

答 3月は節目の月であることから、感染の状況に応じ、出校日の設定等を含め、児童生徒の健康・安全の確保に最大限の努力をしていきたい。

ジョージア柔道選手団の受入れ態勢

問 東京オリンピック事前キャンプのトレーニング場所として大牟田高等学校の柔道場を予定しているが、夏場の暑さ対策として、他に空調設備が整っている柔道場での練習も予定しているのか。

また、練習相手はどのように考えているのか。

答 暑さ対策については、トレーニング実施時間の調整や、近隣で空調設備がある県の施設の活用も考えている。

練習相手の確保については、県柔道連盟の協力のもと、社会人や大学生の協力体制を整えているところ。

また、県内でキャンプを実施する他県との合同練習も考えていきたい。

一般質問



令和 2 年度予算案と 財源確保への意欲

問 予算案について、投資的経費の割合は前年度と比較するとどのようになるのか。

答 前年度と比較すると 2 億

8,600 万円ほど増加の見込み。

問 投資をするにも財源が必要。貴重な財源である、ふるさと納税について、昨年度は県内 60 市町村で 42 位。同じ旧産炭地域で人口も近い飯塚市は県内 3 位、約 27 億円も集めている。そのほかにも、本市より小さな自治体が知恵を出し 10 億～44 億円も集めている現状について見解を問う。

答 ふるさと納税については、制度上の課題も多いが、自主財源の確保には重要な手段であると捉えている。今後も引

き続き、他都市の返礼品の内容などを研究しながら寄附金額の向上に努めていきたい。

問 他都市に大幅な遅れを取っていることに憤りを感じる上、現状の体制はいかかなものかと思う。来年度の寄附金の目標額と市長の見解は。

答 目標額 1 億円。制度も有効に活用したい。

再発言 効果が表れるのが早い制度でもあることから、せめて筑後圏域で 1 位を目指すべく目標金額を設定し、達成目指して取り組むべきだ。



人口減少社会への対応としての シティプロモーション戦略

問 市公式キャラクター「ジャー坊」の事業を委託することで期待される効果について聞きたい。

答 民間活力の活用によって子どもを対象にした事業や SNS による情報発信の充実・強化、また新たな関連グッズの開発など、利活用が一層推進されるものと期待する。

市民の健康をつかさどる 保健センター

問 保健センターへの子育て総合窓口の設置の検討について確認したい。

答 同センターは市民の生涯を通じた健康づくりの拠点。健康づくりのスタートである

母子保健との連携した取組が重要であり、今後子育て世代包括支援センターを初めとする子ども家庭課の配置も含めて十分検討していく。

延命公園周辺地区の 魅力向上

問 「ともだちや絵本美術館」の名称決定までの経緯は。

答 昨年 10 月に名称を公募し、県内外から 111 件の応募があった。本年 2 月に開催した名称選考委員会の結果を踏まえ名称を決定した。



市民に寄り添う伴走型の 福祉のまちづくりを

問 これからの福祉のあり方について考えを聞きたい。

答 生活困窮者や複合的な課題がある方などが相談しやすい

い環境を整え、個別の困り事が取りこぼされることがないようにする必要がある。市の総合相談や社会福祉協議会、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所などと相互に連携しながら、適切な支援を提供できるようにしたい。

問 直営の 2 地域包括支援センターの伴走型支援や地域包括ケアを推進するためにも、専門職を正規職員として採用すべきだが考えを聞きたい。

答 次期介護保険事業計画の策定において、センターの専

門職の確保、市直営センターのあり方など十分検討したい。

生涯学習の まちづくりと夜間中学

問 夜間中学が設置されれば、就学猶予で通学できなかった障害者の学びの場にもなり得るが、通学には移動支援サービスを利用できる工夫が必要と思う。考えを聞きたい。

答 今後の課題で、夜間中学設置の進捗状況を注視しつつ、希望者の状況も把握しながら柔軟な対応を検討する。

一般質問



自民・未来クラブ
桑原 誠 議員

ごみ処理基本計画

問 ごみ処理基本計画において、特に重視される施策は。

答 「もったいない」で始まるごみ減量を基本理念に掲げ、

排出抑制・資源化の推進・適正処理の推進といった、この3つを基本方針に据え、3Rを基本としたさらなるごみの減量化、資源化を計画的かつ継続的に推進する。

こうした減量化・資源化に向けた取組を着実に推進することで、ごみ処理経費の抑制や新たなごみ処理施設の建設費の抑制、最終処分場の延命化につなげたい。

再発言 貴重な財源を市民に有効に活用できるよう尽力してもらいたい。

犯罪被害者等支援

問 この支援については、国の基本法や県の条例に地方自治体の責務等が明記されてあることから、本市でも条例の制定が必要と思うがどうか。

答 本市独自の条例の制定の必要性については、他都市の制定状況等を引き続き注視していく。

再発言 十分検討するとともに、早期の条例制定に向けて尽力してもらいたい。



自民・未来クラブ
江上 しほり 議員

大牟田市スポーツ振興計画の中間見直しと本市のスポーツ推進計画の策定

問 大牟田市スポーツ振興計画の中間見直しを行わない経緯とスポーツ基本法に基づく本市のスポーツ推進計画の策

定に向けてのスケジュールは。

答 平成26年度に市民体育館建て替えの検討を始めていたため、これまでスポーツ振興計画の見直しを見送ってきた。

令和4年度策定予定のスポーツ推進計画では、総合体育館の進捗と国の第3期スポーツ基本計画の反映を想定する。

スポーツを通じた女性の活躍促進

問 本市におけるライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツを通じた女性

の活躍促進について、市長の所信を聞きたい。

答 今後策定を予定している本市のスポーツ推進計画においても、具体的な取組を含めて、検討したい。

再発言 本市においても、ぜひ、スポーツ団体における女性役員が増加することにより、女性指導者の活動が円滑となり、指導者の指導内容が女性の健康や女性の好む楽しみ方に配慮するようになる、といったような好循環を実現していく取組を要望する。



自民・未来クラブ
城後 徳太郎 議員

本市の廃棄物処理事業

問 新たなごみ処理施設整備のスケジュールは。

答 令和2年度に国の交付金を活用するための計画を策定

し、令和3年度以降に基本計画策定や調査などを行う予定。

問 令和4年度にリサイクル発電事業が終了し、それ以降は新たな施設稼働まで年間約2億5,000万円（本市負担分）のRDF処理委託費やRDFセンターの補修等のコストがかかり、施設の安定稼働を考えると予定を前倒しし、早期に建設・稼働してはどうか。

答 新施設の建設は、段階ごとに十分な検討を経る必要があるため、現方針のとおり令和10年度以降の稼働を目指す。

問 燃えるごみの減量化を進めることで新施設の規模・建設費の縮減につながるが、リサイクルの品目追加については、市民の理解と協力が不可欠であることから十分な説明が必要と考えるがどうか。

答 プラスチック製容器等の分別収集については、4校区でモデル収集を行い、課題を検証し、10月から市内全校区で実施予定。理解と協力を得ながら取り組んでいきたい。

再発言 丁寧でわかりやすい説明に努めてもらいたい。

一般質問



動画視聴

自民・未来クラブ
島野 知洋 議員

地域防災の充実

問 県が公表した高潮浸水想定区域図をもとに、本市が作成するハザードマップをどのように生かすのか聞きたい。

答 ハザードマップにより、あらかじめ地域の状況を把握することで、より落ち着いた行動や判断ができる。地域の避難訓練などに活用したい。

問 地域における防災訓練の現状と課題について聞きたい。

答 各校区で活動状況が異なり、取組が進んでいる地域でも、活動を継続するための人材不足が課題であることから、PTAや児童生徒も参加しやすいよう、防災キャンプなどの訓練を始めているほか、令和元年度から防災士のスキル

アップ研修を開催している。

地域とともにある学校づくり

問 宮原中学校区での小中一貫モデル校区事業における、「地域とともにある学校」に向け、期待することは。

答 小中一貫校を推進していくに当たり、中学校区内にある複数の学校が地域と一体的に教育活動を進めることで、一つの中学校区として連携が強化され、教育活動がさらに充実するものと期待している。



動画視聴

無所属
北岡 あや 議員

高過ぎる国民健康保険税の負担軽減の努力を

問 本市の国保税の高さには、国保被保険者のうち「所得なし」が37.44%（3世帯のうち1世帯）、世帯の9割が所得

200万円以下であり、負担能力の低い加入者が多いという構造的な原因がある。そうした中、今の国保税は市民が負担可能な税額設定という認識か。

答 制度そのものが相互扶助の考え方の下に成り立っているため、保険税を納めていただくことが制度の存続には必要不可欠と考えている。

問 そのような制度の構造が滞納世帯を増やしており、制度の崩壊にもつながっているのではないか。

また、多くの自治体が子育て

支援などのためにも、一般会計の繰り入れや均等割（人头税）の減免、減免制度の拡充等の対策を取っているが、本市も対策を取るべきでは。

保険税滞納世帯数（1期以上滞納）
1,730世帯（加入世帯…17,307）

答 子どもの均等割額の減免は、他の被保険者の負担増につながり、現時点で困難。

再発言 健康を支える制度が市民生活を破壊する事態になっている。市民生活の実態を考え、負担軽減の対策を望む。

行政視察受入（1月～3月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
1	16	大分県	大分市議会	大牟田エコタウン事業
	21	東京都	昭島市議会	大牟田市居住支援
	22			おおむた・みらい・ESD推進事業
	24	静岡県	長泉町議会	おおむた・みらい・ESD推進事業
	30	茨城県	ひたちなか市議会	高齢者等の円滑な居住確保促進事業
2	4	兵庫県	高砂市議会	大牟田ESD推進事業
	5	茨城県	ひたちなか市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興
	6	栃木県	真岡市議会	おおむた・みらい・ESD推進事業
	12	大阪府	守口市議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
3	19	兵庫県	豊岡市議会	高齢者等の円滑な居住確保促進事業
	27	福岡県	みやま市議会	倉永巡回バスの運営

スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

配信システムの変更により、以前からのパソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレットパソコンからも視聴できるようになりました。

どうぞご利用ください。

大牟田市議会
インターネット議会中継



おおむた自慢

児童と飼育ヤギの交流がつかないだ物語

いのちの大切さ、伝えていこう未来の“おおむたっ子”へ



校庭の片隅などにある飼育小屋で、小学校の児童がニフトリなど動物のお世話をしている。そのような光景を見ることは、少なくなりました。そのような中、大牟田市立手鎌小学校（竹谷浩明校長）では2匹のヤギが飼育され、学校のシンボリックな存在として子どもたちに愛され続けています。



生き物の命に責任を持つ体験を通して思いやりを育む

同校では、平成 23 年から子どもたちの情操教育の一環としてヤギの飼育を始めました。当初はメスのヤギ「メー」の1匹でしたが、オスのヤギ「めいたろう」がやって来て、翌年には子ヤギの「ゆき」が誕生しました。慣れない動物の飼育には、試行錯誤と困難の繰り返しだったようです。その中心を担ってくれている児童たちは、今では慣れたものです。

毎日ヤギの健康状態をチェックして先生に報告したり、夏の暑さを見かねて忘れ物の傘で日よけを作ったりと、優しさが随所に見られます。

9年間で一番嬉しかったことは、真っ白な赤ちゃんヤギが産まれたこと。

一番悲しかったことは、お父さんヤギ「めいたろう」が病気で死んでしまったこと。

生き物の命に責任を持つ体験を通して、児童の思いやりは育まれ続けています。ヤギの親子とふれあう中で、獣医や動物園の飼育員を志す児童も少なくありません。そのような夢をかなえた子どもたちとの再会を、学校ヤギの「メー」は、心待ちにしているようです。



絵本「やぎのメーちゃん」完成

保護者や地域の皆さんの協力で飼育されてきたヤギのメーちゃんの思い出を残そうと写真の（文）住吉久美子先生、（絵）馬場真帆さんにより絵本が制作されました。

この制作に尽力された前校長の山崎強志先生は、手鎌小学校の子どもたちが大人になっても、メーちゃんのことを語り継いで欲しいと、お話しされました。

この絵本はA4サイズで1冊千円にて手鎌小学校で販売されています。



編集後記

光陰矢の如し——。昨年5月に新しい体制となり、早1年。時の速さを実感しました。北海道への視察の折、疾走する列車から過ぎ去る雄大な北の大地を眺めて、「ほんの少し前までは、のんびりとした時間が、同じ車窓から流れていたのだろう」と思いました。誰人も平等に1日24時間。この与えられた大事な24時間を2年目となる本年度も無駄にせず、愛する郷土のために使って参りたいと思います。（Y）

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所